

## 事務局報告

平成14年度の学術発表会は、吉田祥二会長(高知医科大学放射線医学教室教授)のもとで、11月15日(金)、16日(土)の両日に高知市、ホテル日航高知旭ロイヤルにおいて開催されました。

今回の大会は、吉田大会長の肝いりでメインテーマを「腫瘍の治療効果予測・効果判定のための画像診断(CT、MRI、US、SPECT、PET)」と掲げられ、4つのシンポジウムを柱に特別講演、教育講演、展示発表、テクニカルノートなどのセッションが組み合わされた大変実のある研究会となりました。特にメインテーマである腫瘍の治療効果予測・効果判定のための画像診断に関しては、US、CT、MRI、RIなどの各種画像診断による腫瘍の治療効果予測・効果判定という課題は、放射線治療を専攻するものにとっても極めて魅力的であり、新たな参加者も交えて熱心な発表、討議が行われました。MDCTの登場により dynamic study がより詳細に可能となり、MRI、FDG-PETをも加えた断層映像診断により治療効果予測と効果判定に有用な情報がいくつか提示されたことは大きな収穫といえましょう。特に治療効果の判定に関しては、放射線治療以外にTAEやPEITなどIVR施行後の画像診断上の変化は経時的にみても複雑な経過をたどり、正確な判断評価を下すことが困難であるだけに、意義の有るシンポジウムであったと思います。

特別講演はRolf W. Guenther教授(ドイツAachen大学病院放射線科)による"Diagnostic imaging and image-guided intervention-The silent revolution"であり、教育講演は渋谷正史教授(東大医科研癌・細胞増殖大部門)による「血管新生と腫瘍」であり、いずれも魅力ある最新のトピックスが取り上げられました。一般講演は全て展示発表でしたが、この内容紹介を大会事務局のほうから概略としてまとめて報告していただいたのは新しい企画であり、これに大会長賞の表彰が加わり大会に花を添えていただきました。

以下に、学術大会中に行われた世話人会、総会の議事要旨を掲載します。

### 平成14年度断層映像研究会世話人会議事要旨

日時：平成14年11月15日(金)12:00～13:00

場所：ホテル日航高知旭ロイヤル

出席者：吉田祥二(大会長)、伊藤勝陽、大川元臣、大島統男、小原秀一、西条隆夫、宍戸文男、杉村和朗、田中良明、中尾宣夫、橋林 勇、平木祥夫、平松慶博、福田国彦、藤井恭一、本田憲業、町田喜久雄

#### 議事：

1. 平成13年度の事業報告、決算報告、監査報告(福田国彦、藤井恭一両監事)が行われ、別紙のように承認された。

2. 庶務報告として、会員数、会員動態および会費納入状況が報告された。会員数は、平成14年9月30日現在で406名(うち36名は特別会員、12名は功労会員)、会員動態は平成13年4月1日から平成14年3月31日の間に新規会員31名、退会48名である。会費の長期滞納者については督促すると共に、会員継続の意思確認を行い退会希望者には退会手続きをとることになった。

3. 平成15年度の事業計画、予算案について報告され、別紙のように承認された。この中で、平成14年度の事業については進行中の段階であるがその状況を報告すべきであるとの提案があり、次回より履行することになった。

4. 平成14年11月14日(木)開催の編集委員会の報告が町田喜久雄編集委員長から行われた。「要旨」(1)平成14年(Vol. 29)は1号は3月に発行したが、予算の関係で2、3号は合併号となり今大会の抄録号を兼ねて9月に発行した。(2)次号(4号)は現在、福田国彦教授にguest editorをお願いして「骨、軟部の画像診断」のテーマで編集が進んでおり、12月号として発行の予定であるが、来年1月にずれ込む可能性がある。次々号は中條政敬教授にguest editorをお願いしている。来年度以降も年3回の発行になる可能性が高い。(3)電子ジャーナルについて討議が行われた。一つはこれまでの雑誌発行分のフルペーパーを会員登録者がダウンロードできるメディアオンラインの会社と契約する方法で、文献ダウンロードの利用毎に料金の10%が研究会に入金する仕組みである。これによって論文が引用文献される機会も増えることが期待できる。他の一つは雑誌の完全電子化で、会員専用のサイトで閲覧し論文全文がダウンロードする方法であるが、編集費用など現在の雑誌発行と比べてどれほどの違いがあるのか検討する必要がある。(4)今回の第32回学術大会は、田中良明教授(日本大学医学部放射線医学教室)の大会長のもとで行われるが、当初予定した会期の平成15年10月9日・10日が日本医学放射線学会秋季大会と重なるため急遽変更することになり、会期、会場などは田中教授に一任された。(5)次々々期(平成17年度)の大会長について討議され、福田国彦教授(東京慈恵会医科大学)が推薦され承認された。

5. 世話人として、宇野公一先生(西台クリニック)、青木茂樹先生(東大)、本田浩先生(九大)が推薦された。

### 平成14年度断層映像研究会総会議事要旨

日時：平成14年11月15日(金)13:05～13:15

場所：ホテル日航高知旭ロイヤル

議事：吉田祥二大会長の議長のもとで議事が進められ、上記の世話人会報告および編集委員会報告がそれぞれ田中良明(世話人代表)および町田喜久雄編集委員長より行われ、いずれも原案通り承認された。

(文責：事務局 田中良明)

## 平成14年度断層映像研究会 世話人会・総会 資料

## 1号議案：平成13年度事業報告及び庶務報告

## 1) 平成13年度事業報告

## 1. 総会 1回

平成13年10月5日(金)岡山市、おかやま三光荘

## 2. 第30回断層映像研究会学術大会

平成13年10月5日(金)、6日(土)

学術大会長 平木 祥夫(岡山大学)

## 3. 世話人会

1回 平成13年10月5日(金) 岡山市

## 4. 編集委員会

1回 平成13年10月4日(木) 岡山市

## 5. 研究会雑誌の発行

第28巻2号(H.13. 6. 30)発行

第28巻3号(H.13. 9. 30)発行

第28巻4号(H.13. 12. 31)発行

第29巻1号(H.14. 3. 31)発行

## 2) 庶務報告 資料

## 2号議案：平成13年度収支決算報告ならびに監査結果報告

## 1) 収支決算報告 資料

## 2) 藤井恭一、福田国彦監事より監査報告

## 3号議案：編集委員会報告

編集委員会

平成14年11月14日(木)

高知市・ホテル日航高知旭ロイヤル

## 検討内容報告

## 1. 断層映像研究会雑誌の編集状況について

## 平成13年度収支決算報告書

(平成13年4月1日～平成14年3月31日)

(△：減)

1. 収入の部				2. 支出の部			
項目	予算額	収入額	差異	項目	予算額	支出額	差異
会費	2,400,000	1,654,000	△746,000	報償費	250,000	250,000	0
利子	500	851	351	賃金	0	0	0
前年度繰越	700,000	1,886,693	1,186,693	旅費	180,000	55,000	△125,000
雑収入	0	5,880	5,880	需要費	50,000	25,200	△24,800
				役務費	100,000	92,315	△7,685
				使用貸借料	50,000	0	△50,000
				負担金及び補助金	1,750,000	1,541,094	△208,906
				予備費	720,500	0	△720,500
合計	3,100,500	3,547,424	446,924	合計	3,100,500	1,963,609	△1,136,891

収入額(3,547,424)－支出額(1,963,609)＝次年度繰越(1,583,815)

次年度繰越内訳	郵便振替口座	1,051,040円
	郵便貯金総合通帳	95,353円
	定期預金(東京三菱銀行)	400,393円
	普通預金(東京三菱銀行)	37,029円

(平成14年3月31日現在)

計1,583,815円

2. 断層映像研究会雑誌の今後の編集方針について

3. 次期(平成15年度)学術大会について

当初の案が変更され最終的には下記の通りとなった。

大会長:田中 良明教授

(日本大学医学部放射線医学教室)

会期:平成15年11月14日(金)、15日(土)

会場:日本大学会館

4. 次々々期(平成17年度)の大会長推薦について

福田国彦教授(東京慈恵会医科大学)が推薦された。

4号議案:平成15年度事業計画および予算案

1)平成15年度 事業計画

1. 総会 1回

2. 学術発表会 1回

3. 世話人会 1回

4. 編集委員会 随時

5. 研究会雑誌の発行 3回

(うち一回は大会抄録号を兼ねる)

### 平成13年度収支決算報告明細書

#### 1. 収入の部 明細

項 目	金 額	備 考
1. 会 費	小計 1,654,000	
2. 利 子	小計 851	定期預金 440 普通預金 40 郵便貯金総合通帳 371
3. 前年度繰越金	小計 1,886,693	
4. 雑 収 入	小計 5,880	会誌代
収入合計	3,547,424	

#### 2. 支出の部 明細

項 目	金 額	備 考
1. 報 償 金	小計 250,000	事務手当
2. 賃 金	小計 0	
3. 旅 費	小計 55,000	編集委員会旅費
4. 需 要 費	小計 25,200	封筒作成代
5. 役 務 費	735 90,000 1,580 小計 92,315	振込料 切手、葉書代 宅急便送料
6. 使用賃借料	小計 0	
7. 負担金及び補助金	200,000 1,041,094 300,000 小計 1,541,094	編集委員会補助 会誌発行費 第30回大会補助金
8. 予 備 費	小計 0	
9. 次年度繰越	小計 1,583,815	
支出合計	3,547,424	

## 2) 平成15年度予算書(案) 資料

## 庶務報告

## 1. 会員数(平成14年9月30日現在)

会 員	358名
特別会員	36名
功勞会員	12名
合計会員数	406名

## 2. 会員動態

(平成13年4月1日～平成14年3月31日)

新規会員	31名
退 会	48名

## 5号議案:その他

## 平成15年度 収支予算書(案)

## 1. 収入の部

項 目	予 算 案	備 考
1.会 費	1,800,000	6,000×300人
2.利 子	500	
3.前年度より繰越金	1,500,000	
計	3,300,500	

## 2. 支出の部

項 目	予 算 案	備 考
1.報 奨 金	250,000	事務手当
2.賃 金	0	アルバイト料
3.旅費及び会合費	180,000	委員会等
4.需 要 費	50,000	印刷費、事務用品等
5.役 務 費	100,000	切手代、通信費
6.使用貸借料	50,000	コピー、会議室等
7.負担金及び補助金	1,750,000	会誌発行 1,250,000 大会補助 300,000 編集委員会 200,000
8.予 備 費	100,000	
9.次年度繰越金	820,500	
計	3,300,500	